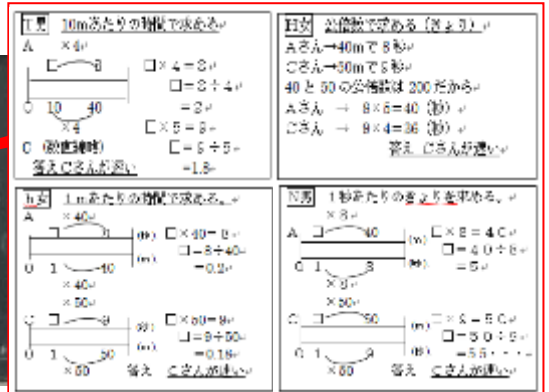


〈テーマ〉児童の考えをつなぎ、練り合いを深めた取組（東松島市立大塩小学校）

【ねらいと特色】 6年「速さの表し方を考えよう」

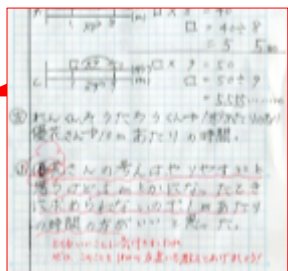
単元の導入を2時間扱いにし、第1時を自力解決に、第2時を集団解決に重点をおく単元構成を工夫する。第1時では、それぞれの考え方をグループで伝え合う活動を行った。その際に友達の考え方に疑問をもつ児童もいることが分かった（振り返りの言葉から）。そこで、第2時では、全体で話し合うことを通して、それぞれの考え方のよさや、課題点を検討させることで、単体量当たりの大きさについて考えを深めさせることができた。

【実践の概要】



- T 速さを比べる4つの方法「10mあたり」「1mあたり」「1秒あたり」「公倍数」で分かったことや感じたことを発表しましょう。
- C 10mあたりで考えると分かりやすいと思いました。
- C 数直線を使った解き方をしたけど、10mあたりだととても簡単にできると思いました。
- C T君と同じやり方でしたが、今、発表を聞いて、10mあたりの求め方は一番簡単だと思いました。
- T どのやり方が分かりやすいでしょうか。
- C 1秒あたりが求めやすいと思いました。
- C 1mあたりで求めましたが、いま、Rさんの話を聞いて、1秒あたりの方がやりやすいと思いました。
- C 公倍数で求めました。比べ方はいろいろあるけど、1秒あたりがやりやすいなと思いました。
- C ぼくは両方やったけど、やっぱり1秒あたりの方が求めやすかったです。
- T 今の話し合いで、何か疑問に思った人はいませんか。
- C なぜ、1秒あたりがやりやすいのか分かりません。
- C 1秒あたりの方が答えが整数になるからです。
- C 公倍数よりも1mあたりがやりやすいと思いました。公倍数だと200という大きな数になるからです。
- C 40と50だと簡単だったけど、もっと細かい数だと公倍数では大変だと思いました。
- C 公倍数でやったけど、1mあたりの時間がやりやすいと思いました。
- C HさんとRさんの話を聞いて、ぼくは公倍数でやったけど、1mあたりの時間が簡単だと思いました。公倍数が大きくなると大変だからです。
- C 一番簡単にできるのは10mあたりだと思います。
- C 一番やりやすいのは10mあたりだと思います。
- C 私も10mあたりで考えるのが一番簡単だと思いました。

- T 昨日グループで話し合いした後の振り返りに、この10mあたりの考え方について疑問をもった人がいました。Hさん、昨日の振り返りを読んでください。
- C Yさんの考え方（10mあたりで比べる）はやりやすいと思うけど、5mになったときに、求められないので、1mあたりの時間の方がいいと思いました。
- T Hさんの考えについてどう思いますか。
- C Hさんの考えを聞いて、なるほどと思いました。10mの時はいいけど、5mだったら難しいと思いました。
- C 私もそう思いました。今回は10mでできたけど、数字によってはできないと思いました。
- C 私もそう思います。やっぱり1mあたりとか1秒あたりで比べる方がいいと思いました。
- C 10mあたりでやったけど、今話を聞いて、1秒あたりや1mあたりで比べるのが一番いいと思いました。



- 「振り返り」から
- C 話せば話すほど簡単にできた。
- C みんながたくさんの意見を言っていて、自分もその意見を基に改めて考えられたのがよかった。
- C 1mあたりと1秒あたりで求めると簡単にできることが分かった。
- C 自分の考えよりも、友達の1秒あたり1mあたりなどの考え方が分かりやすかったです。

